

## はじめに

Windows® 自動インストール キット (Windows AIK) は、IT プロフェッショナルによる Windows オペレーティング システムの展開に役立ちます。Windows Thin PC の展開にもこの同じツールキットを使用します。

このドキュメントでは、Windows Thin PC イメージの構成および展開方法について、基本的な例を示します。この手順を終了すると、有効な応答ファイルと起動可能な Windows プレインストール環境 (Windows PE) CD が作成され、最初のカスタム Windows Thin PC イメージの展開が完了します。ここで作成した基本応答ファイルは、変更して追加のカスタマイズを行うことができます。また、このシナリオの手動ステップの一部をスクリプト作成して、手順の一部を自動化することもできます。すべてのツールと展開方法の包括的な説明については、『Windows 自動インストール キット (Windows AIK) ユーザーズ ガイド (Waik.chm)』または <http://go.microsoft.com/fwlink/?LinkId=121503> を参照してください。

この例では、基本応答ファイルを構築してから、その応答ファイルを使用して Windows Thin PC をインストールします。このプロセスでは以下を行います。

### ステップ 1: 応答ファイルの構築

### ステップ 2: 参照インストールの構築

### ステップ 3: 起動可能な Windows PE メディアの作成

### ステップ 4: ネットワーク共有へのインストールのキャプチャ

### ステップ 5: ネットワーク共有からの展開

## 要件

このシナリオを完了するには、以下が必要です。

- **Windows Thin PC 製品 DVD ディスク**
- **Windows AIK DVD ディスク**

Windows AIK .iso ファイルは <http://go.microsoft.com/fwlink/?LinkId=136976> からダウンロードできます。

- **テクニシャン コンピューター**

テクニシャン コンピューターは、Windows 自動インストール キット (Windows AIK) をインストールする任意のコンピューターになります。テクニシャン コンピューターは Windows Server® 2003、Windows Vista®、または Windows 7 (32 ビット推奨) を実行している必要があります。また、このコンピューターには、ネットワーク アダプター、有効なネットワーク環境、DVD-ROM ドライブ、および CD-R/RW 対応ドライブ (または両方をサポートするコンボ ドライブ) も必要です。

- **参照コンピューター**

参照コンピューターは完全に組み立てられたコンピューターで、ここに Windows Thin PC 製品 DVD と応答ファイルを使用してカスタム インストールを行います。インストールしたら、ネットワーク共有へインストール イメージをキャプチャして格納します。このコンピューターには、ソフトウェア要件はありません。テクニシャン コンピューターと参照コンピューターの両方とも、ネットワーク アダプターと有効なネットワーク環境が必要です。

### メモ

BIOS ベースのコンピューターと UEFI ベースのコンピューターでは、ディスク パーティション要件が異なります。このガイドでは、BIOS ベースのコンピューター用に応答ファイルを作成する方法を説明します。ほとんどの 32 ビット コンピューターと多くの 64 ビット コンピューターは BIOS ベースです。

- **ネットワーク接続**
- **USB フラッシュ ドライブ (UFD)**
- **CD-ROM 書き込み用ソフトウェア**
- **1 枚の空の CD-R/RW ディスク**
- **オプション: セットアップ先コンピューター**

セットアップ先コンピューターとは、エンド ユーザーに展開する予定のコンピューターです。参照インストールの構築後、そのインストールのイメージをネットワーク共有にキャプチャして格納します。その後、ネットワーク共有からセットアップ先コンピューターにイメージを展開します。

### メモ

この例では、参照コンピューターをセットアップ先コンピューターとして再利用できます。参照インストールのイメージをキャプチャして格納したら、参照コンピューターのハード ドライブを再フォーマットして、空の状態に戻すことができます。その後、そのコンピューターをセットアップ先コンピューターとして使用できます。

## Windows AIK のインストール

Windows AIK をインストールするには:

1. Windows AIK DVD をテクニシャン コンピューターの DVD-ROM ドライブに挿入します。  
セットアップ プログラムが自動的に開始します。
2. オンラインの指示に従います。

### メモ

セットアップ プログラムが自動的に開始しない場合は、Windows エクスプローラーで Windows AIK DVD を含む DVD ドライブを参照し、StartCD.exe をクリックしてから、[Windows AIK セットアップ] をクリックしてインストールを開始します。

## ステップ 1: 応答ファイルの構築

カスタム インストール作成の最初のステップでは、応答ファイルを構築します。応答ファイルを使用して、インストール時に Windows Thin PC 設定を構成します。たとえば、既定の Internet Explorer 設定、ネットワーク構成、他のカスタム設定を構成できます。さらに、応答ファイルには、無人インストールに必要なすべての設定が含まれます。インストール時には、ユーザー インターフェイス ページは表示されません。

このセクションでは、無人応答ファイルおよび構成セットを作成/変更するためのユーティリティ、Windows システム イメージ マネージャー (Windows SIM) を使用して応答ファイルを作成します。シンプルな応答ファイルには、基本的な Windows Thin PC セットアップ構成と [Windows へようこそ] の最小限のカスタマイズが含まれます。この例では、特殊なドライバー、アプリケーション、またはパッケージのインポートは行いません。

Windows AIK をテクニシャン コンピューターにインストールすると、この応答ファイルのサンプルである Corp\_autounattended\_sample.xml が C:\Program Files\Windows AIK\Samples に格納されます。

### 応答ファイルを作成するには

このステップでは、Windows イメージ ファイル (.wim) とイメージ カタログ ファイル (.clg) をテクニシャン コンピューターにコピーして、応答ファイルを作成します。

1. テクニシャン コンピューターに Windows Thin PC 製品 DVD を挿入します。
2. DVD-ROM ドライブの \Sources ディレクトリに移動して、**Install.wim** と **ThinPC.clg** ファイルを Windows Thin PC 製品 DVD からコンピューター上にコピーします。
3. [スタート] ボタン、[すべてのプログラム]、[Microsoft Windows AIK]、[Windows システム イメージ マネージャー] の順にクリックして、Windows SIM を開きます。
4. Windows SIM で [ファイル] メニューの [Windows イメージの選択] をクリックします。
5. [Windows イメージの選択] ダイアログ ボックスで、ステップ 1 で **ThinPC.clg** を保存した場所移动到移動して、[開く] をクリックします。[ユーザー アカウント制御] ウィンドウでプログラムを承認するように指示された場合は、プログラムの許可またはインストールのキャンセルを選択できます。
6. [ファイル] メニューの [新しい応答ファイル] をクリックします。  
[応答ファイル] ウィンドウに空の応答ファイルが表示されます。

## Windows 設定の追加と構成

このステップでは、基本的なディスク構成と [Windows へようこそ] 設定を定義します。

1. Windows SIM の [Windows イメージ] ウィンドウで、[コンポーネント] ノードを展開して、利用可能な設定を表示します。
2. 展開されたコンポーネント一覧で、コンポーネントを右クリックしてから該当する構成パスを選択して、次の表のコンポーネントを応答ファイルに追加します。この操作によって、インストールの指定の構成パスまたはフェーズの応答ファイルに対して、コンポーネントを追加します。オプションのコンポーネントを追加すると、「ステップ 2: 参照インストールの構築」でインストールをより簡単にテストできます。

### メモ

下の表に示された最下位の子ノードが表示されるまで [Windows イメージ] ウィンドウでコンポーネント一覧を展開します。たとえば、Microsoft-Windows-Setup を展開して DiskConfiguration ノードを表示します。Disk ノードが表示されるまで DiskConfiguration ノードを展開します。下の表に示された CreatePartition ノードが表示されるまで Microsoft-Windows-Setup の下のツリーを続けて展開します。この CreatePartition ノードを応答ファイルに追加します。このショートカットを使用すると、設定とすべての親設定が 1 回の手順で応答ファイルに追加されます。

| コンポーネント   | 構成パス       |
|---|------------|
| Microsoft-Windows-Deployment¥Reseal   | oobeSystem |
| Microsoft-Windows-International-Core-WinPE¥SetupUILanguage                        | windowsPE  |
| Microsoft-Windows-Setup¥DiskConfiguration¥Disk¥CreatePartitions¥CreatePartition   | windowsPE  |
| Microsoft-Windows-Setup¥DiskConfiguration¥Disk¥ModifyPartitions¥ModifyPartition   | windowsPE  |
| Microsoft-Windows-Setup¥DiskConfiguration¥Disk¥CreatePartitions¥CreatePartition * | windowsPE  |
| Microsoft-Windows-Setup¥DiskConfiguration¥Disk¥ModifyPartitions¥ModifyPartition * | windowsPE  |
| Microsoft-Windows-Setup¥ImageInstall¥OSImage¥InstallTo                            | windowsPE  |
| Microsoft-Windows-Setup¥UserData  | windowsPE  |
| Microsoft-Windows-Shell-Setup¥OOBE  | oobeSystem |
| オプション: Microsoft-Windows-IE-InternetExplorer                                      | specialize |

\* この例では 2 パーティション構成を使用しています。Windows SIM の [Windows イメージ] ウィンドウでコンポーネントを右クリックしてから該当する構成パスを選択して、2 番目の CreatePartition コンポーネントと 2 番目の ModifyPartition コンポーネントを応答ファイルに追加します。この操作によって CreatePartition および ModifyPartition コンポーネントの 2 番目のインスタンスを応答ファイルに追加します。

- 追加したすべての設定が Windows SIM の [応答ファイル] ウィンドウに表示されます。[設定] から該当する設定を選択し、次の表で指定された適切な値を右側の欄に入力します。

#### 構成パス: WindowsPE

| コンポーネント   | 値  |
|---|--|
| Microsoft-Windows-International-Core-WinPE                                      | <InputLocale>Ja-JP</InputLocale><br><LayeredDriver>6</LayeredDriver><br><SystemLocale>Ja-JP</SystemLocale><br><UILanguage>En-US</UILanguage><br><UserLocale>Ja-JP</UserLocale> |
| Microsoft-Windows-International-Core-WinPE¥SetupUILanguage                      | UILanguage = en-US   |
| Microsoft-Windows-Setup¥DiskConfiguration                                       | WillShowUI = <b>OnError</b>  |
| Microsoft-Windows-Setup¥DiskConfiguration¥Disk                                  | DiskID = <b>0</b><br>WillWipeDisk = <b>true</b>  |
| Microsoft-Windows-Setup¥DiskConfiguration¥Disk¥CreatePartitions¥CreatePartition | Order = <b>1</b><br>Size = <b>200</b><br>Type = <b>Primary</b>   |
| Microsoft-Windows-Setup¥DiskConfiguration¥Disk¥CreatePartitions¥CreatePartition | Extend = <b>true</b><br>Order = <b>2</b><br>Type = <b>Primary</b>  |
| Microsoft-Windows-Setup¥DiskConfiguration¥Disk¥ModifyPartitions¥ModifyPartition | Active = <b>true</b><br>Format = <b>NTFS</b><br>Label = <b>System</b><br>Order = <b>1</b><br>PartitionID = <b>1</b>  |
| Microsoft-Windows-Setup¥DiskConfiguration¥Disk¥ModifyPartitions¥ModifyPartition | Format = <b>NTFS</b><br>Label = <b>Windows</b><br>Order = <b>2</b><br>PartitionID = <b>2</b>   |

| コンポーネント  | 値  |
|--|--|
| Microsoft-Windows-Setup¥ImageInstall¥OSImage           | InstallToAvailablePartition = <b>false</b><br>WillShowUI = OnError |
| Microsoft-Windows-Setup¥ImageInstall¥OSImage¥InstallTo | DiskID = <b>0</b><br>PartitionID = <b>2</b>                        |
| Microsoft-Windows-Setup¥UserData                       | AcceptEula = <b>true</b>   |
| Microsoft-Windows-Setup¥UserData¥ProductKey            | Key = <製品キー><br>WillShowUI = <b>OnError</b>                        |

**構成パス: Specialize**

| コンポーネント                                      | 値                      |
|--|------------------------|
| オプション: Microsoft-Windows-IE-InternetExplorer | Home_Page = <会社ホームページ> |

**構成パス: oobeSystem**

| コンポーネント                             | 値   |
|-------------------------------------|---|
| Microsoft-Windows-Deployment¥Reseal | ForceShutdownNow = <b>false</b><br>Mode = <b>Audit</b>                                |
| Microsoft-Windows-Shell-Setup¥OOBE  | HideEU LAPage = <b>true</b><br>ProtectYourPC = <b>3</b><br>SkipUserOOBE = <b>true</b> |

**重要**

これらの設定は、基本的な無人インストールの概要を示したものであり、Windows Thin PC セットアップ中にユーザーによる入力はありません。インストールが完了すると、コンピューターが監査モードで再起動します。監査モードは Windows Thin PC セットアップのステージで、これによりデスクトップへの迅速な起動、追加のアプリケーションやデバイス ドライバーのインストール、およびインストールのテストができます。[Windows へようこそ] は監査モードでは実行されませんが、/oobe オプションを指定して sysprep コマンドを実行すると、次回コンピューターを再起動したときに実行されます。[Windows へようこそ] はコンピューターの OOBE (out-of-box experience) とも呼ばれ、マイクロソフト ソフトウェア ライセンス条項を読んでコンピューターを構成するようにエンド ユーザーに指示します。

監査モードの詳細については、『Windows 自動インストール キット (Windows AIK) ユーザーズ ガイド (Waik.chm)』の「Windows を監査モードでカスタマイズする」または <http://go.microsoft.com/fwlink/?LinkId=121506> を参照してください。

Sysprep.exe の詳細については、Waik.chm の「Sysprep テクニカル リファレンス」または <http://go.microsoft.com/fwlink/?LinkId=121713> を参照してください。

**設定の検証と保存**

このステップでは、応答ファイルの設定を検証後、ファイルに保存します。

1. Windows SIM で [ツール]、[応答ファイルの検証] の順にクリックします。  
応答ファイルの設定値が、Windows Thin PC イメージで利用できる設定と比較されます。
2. 応答ファイルが正常に検証された場合は、Windows SIM ウィンドウ下部の [メッセージ] ウィンドウに "警告またはエラーはありません" というメッセージが表示されます。検証に失敗した場合は、[メッセージ] ウィンドウにエラー メッセージが表示されます。
3. エラーが発生した場合は、[メッセージ] ウィンドウでエラー メッセージをダブルクリックして、不正な設定に移動します。設定を変更してエラーを修正し、[応答ファイルの検証] をクリックして再度検証します。応答ファイルの検証が成功するまで、このステップを繰り返します。
4. [ファイル] メニューの [応答ファイルを保存] をクリックします。応答ファイルを Autounattend.xml として保存します。
5. Autounattend.xml ファイルを、USB フラッシュ ドライブ (UFD) のルート ディレクトリにコピーします。

これで、Windows Thin PC セットアップを自動化する基本応答ファイルが作成されました。応答ファイルの構築の詳細については、

Waik.chm の「Windows プレインストール フェーズ」の「フェーズ 3: プレインストールのカスタマイズ」または <http://go.microsoft.com/fwlink/?LinkId=121501> を参照してください。

## ステップ 2: 参照インストールの構築

参照コンピュータには、1 台以上のセットアップ先コンピュータに複製する予定の Windows Thin PC のカスタム インストールがインストールされます。参照インストールは、Windows Thin PC 製品 DVD と応答ファイルを使用して作成できます。

### 製品 DVD から Windows Thin PC をインストールするには

1. 参照コンピュータの電源を入れて Windows Thin PC 製品 DVD を挿入し、前のステップで作成した応答ファイル (Autounattend.xml) を含む UFD を接続します。

#### 重要

UFD を使用する際は、コンピュータのプライマリ USB ポート セットにドライブを差し込みます。デスクトップ コンピューターの場合、これは通常、コンピュータの背面に装備されています。

2. Ctrl + Alt + Del キーを押してコンピュータを再起動します。DVD-ROM ディスクからブートするために、ブート順序を上書きする必要がある場合があります。その場合は、初回ブート時に、適切なファンクション キーを選択して、ブート順序を上書きしてください。Windows Thin PC セットアップ (Setup.exe) が自動的に開始します。既定では、Windows Thin PC セットアップは、すべてのリムーバブル メディアのルート ディレクトリで応答ファイルの Autounattend.xml を検索します。
3. セットアップが終了したら、すべてのカスタマイズが適用されたことを検証できます。たとえば、応答ファイルで Internet Explorer の Home\_Page 設定を行った場合は、この時点で Internet Explorer を開いてこれを検証できます。
4. エンド ユーザーのためにコンピュータを準備します。/generalize オプションを指定して sysprep コマンドを使用すると、ハードウェア固有の情報が Windows Thin PC インストールから削除されます。また、/oobe オプションを指定すると、次回再起動したときに [Windows へようこそ] を表示するようにコンピュータを構成できます。監査モードでデスクトップに表示される [システム準備ツール] ウィンドウ (Sysprep) で、以下を行います。
  - a. [システム クリーンアップ アクション] リストから [システムの OOBE (Out-of-Box Experience) に入る] を選択します。
  - b. “Generalize” を選択します。
  - c. [シャットダウン オプション] リストから [シャットダウン] を選択します。
  - d. [OK] をクリックします。

#### メモ

Sysprep ツールはコマンド プロンプトから「c:\windows\system32\sysprep\sysprep.exe /oobe /generalize /shutdown」と入力しても実行できます。

Sysprep.exe は、ユーザーやコンピュータに固有のさまざまな設定とログ ファイルをクリーンアップして、イメージをキャプチャする準備を行います。これで参照インストールが完了し、イメージを作成する準備が整いました。

#### 注意

**sysprep /generalize** コマンドを実行すると、out-of-box デバイス ドライバーは Windows Thin PC イメージから削除されます。インストール時に out-of-box デバイス ドライバーを追加した場合、Windows Thin PC イメージをキャプチャするときは、Microsoft-Windows-PnpSysprep コンポーネントの PersistAllDevice-Installs 設定を応答ファイルで True に設定してください。これを行うと、Sysprep は検出したデバイス ドライバーを削除しません。

これで、参照コンピュータとして使用できるコンピュータの準備が整いました。多数のコンピュータを展開する場合は、参照インストールのイメージをキャプチャし、そのイメージを他の新しいコンピュータに展開するほうが効率的かもしれません。または、それぞれの新しいコンピュータについて ステップ 2 を繰り返すこともできます。



イメージベースの展開の参照としてこのインストールを継続するには、ステップ 3 ～ 5 の指示に従ってください。

### ステップ 3: 起動可能な Windows PE メディアの作成

このステップでは、Cotype.cmd スクリプトを使用して、起動可能な Windows PE RAM ディスクを CD-ROM ディスク上に作成します。Windows PE RAM を使用すると、展開や回復のためにコンピューターを起動できます。Windows PE RAM はメモリに直接ブートするため、コンピューターのブート後は Windows PE メディアを取り除くことができます。Windows PE にブートしたら、ImageX ツールを使用して、ファイルベースのディスク イメージをキャプチャ、変更、および適用できます。これらツールの詳細については、Waik.chm の「展開ツールのテクニカル リファレンス」または <http://go.microsoft.com/fwlink/?LinkId=121497> を参照してください。

1. テクニシャン コンピューターで、[スタート] ボタンをクリックし、[すべてのプログラム]、[Windows AIK] の順にポイントします。次に、[Deployment ツールのコマンド プロンプト] を右クリックして、[管理者として実行] をクリックします。  
メニューのショートカットから [コマンド プロンプト] ウィンドウが開き、すべての必要なツールをポイントする環境変数が自動的に設定されます。既定では、すべてのツールが C:\Program Files\Windows AIK\Tools にインストールされます。
2. コマンド プロンプトで、Cotype.cmd スクリプトを実行します。

```
cotype.cmd <アーキテクチャ> <コピー先>
```

<アーキテクチャ> は、x86 または amd64 です。<コピー先> は、ローカル ディレクトリへのパスです。スクリプトは下記のディレクトリ構造を作成して、そのアーキテクチャに必要なすべてのファイルをコピーします。

例:

```
cotype.cmd x86 c:\winpe_x86 は ISO を作成し、c:\winpe_x86 の下にフォルダーをマウントします。
```

3. WinPE ブート イメージを ISO\Sources フォルダーにコピーします。

```
copy "c:\program files\Windows AIK\Tools\PETools\<アーキテクチャ>\winpe.wim" <コピー先>\ISO\Sources\boot.wim
```

<アーキテクチャ> には上記のステップ 2 で指定したアーキテクチャと同じものを、<コピー先> には上記のステップ 2 で指定したローカル ディレクトリへのパスを指定します。

例:

```
copy "c:\program files\Windows AIK\Tools\PETools\x86\winpe.wim" c:\winpe_x86\ISO\Sources\boot.wim
```

4. ImageX を %Winpe\_x86\ISO へコピーします。たとえば、次のように入力します。

```
copy "c:\program files\Windows AIK\Tools\x86\imagex.exe" c:\winpe_x86\iso\
```

これによって ImageX.exe のコピーが起動可能な DVD に置かれるため、CD から起動したときに ImageX.exe を実行して、追加システムへの展開用に配置されたイメージをキャプチャできます。

#### メモ

キャプチャ操作中に特定ファイルを除外するように ImageX ツールに指示する Winscript.ini というオプションの構成ファイルを作成できます。Wimscript.ini は ImageX ツールと同じ場所に保存する必要があります。詳細については、Waik.chm の「ImageX 構成ファイルを作成する」を参照してください。

5. [Deployment ツールのコマンド プロンプト] で Oscdimg ツールを使用して、Windows PE イメージ (.iso) ファイルを作成します。たとえば、次のように入力します。

```
oscdimg -n -bc:\winpe_x86\etfsboot.com c:\winpe_x86\ISO  
c:\winpe_x86\winpe_x86.iso
```

6. イメージ (Winpe\_x86.iso) を CD-ROM ディスクに書き込みます。Windows AIK には CD-ROM 書き込み用ソフトウェアは含まれていません。信頼できるサード パーティ製のソフトウェアを使用して、イメージを CD-ROM ディスクに書き込んでください。

これで ImageX ツールを含む起動可能な Windows PE RAM CD が作成されました。Windows PE の詳細については、『Windows プレインストール環境 (Windows PE) ユーザーズ ガイド』(Winpe.chm) を参照してください。



## ステップ 4: ネットワーク共有へのインストールのキャプチャ

このステップでは、Windows PE と ImageX ツールを使用して、参照コンピューターのイメージをキャプチャします。それから、そのイメージをネットワーク共有に格納します。

1. 参照コンピューターに Windows PE メディアを挿入して、コンピューターを再起動します。

### メモ

CD/DVD-ROM ドライブからブートするには、ブート順序を上書きすることが必要な場合があります。その場合は、初回ブート時に、適切なファンクション キーを選択して、ブート順序を上書きしてください。

2. Windows PE が起動して、[コマンド プロンプト] ウィンドウが表示されます。
3. Windows PE メディアにある ImageX ツールを使用して、参照インストールのイメージをキャプチャします。たとえば、コマンド プロンプトで次のように入力します。

```
e:\image.exe /capture d:d:\myimage.wim "my Win7 Install" /compress fast /verify
```

4. イメージをネットワーク上の場所にコピーします。Windows PE はネットワーク サポートを提供するため、これを行うことができます。たとえば、コマンド プロンプトで次のように入力します。

```
net use y:¥¥network_share¥images  
copy d:¥myimage.wim y:
```

5. 必要であれば、適切なネットワーク アクセスのためのネットワーク資格情報を指定します。

## ステップ 5: ネットワーク共有からの展開

参照インストールのイメージを作成したら、新しいコンピューターにそのイメージを展開できます。

このステップでは、DiskPart ツールを使用してハード ドライブをフォーマットし、次にネットワーク共有からイメージをコピーします。この例では、参照コンピューターをセットアップ先コンピューターとして使用できます。

1. セットアップ先コンピューターに Windows PE メディアを挿入し、Ctrl + Alt + Del キーを押してコンピューターを再起動します。

### メモ

これが参照コンピューターの場合は、ハード ドライブにはアクティブ パーティションが含まれます。CD/DVD-ROM ドライブからブートするには、ブート順序を上書きすることが必要です。その場合は、初回ブート時に、適切なファンクション キーを選択して、ブート順序を上書きしてください。これが新しく組み立てられたコンピューターの場合は、ハード ドライブはフォーマットされていないため、このステップをスキップできます。

2. Windows PE が起動して、[コマンド プロンプト] ウィンドウが表示されます。
3. Windows PE の [コマンド プロンプト] ウィンドウで DiskPart ツールを使用して、必要なディスク構成を反映させてハード ドライブをフォーマットします。  
たとえば、次のように入力します。

```
diskpart  
select disk 0  
clean  
create partition primary size=200  
select partition 1  
format fs=ntfs label="system"  
assign letter=c  
active  
create partition primary  
select partition 2  
format fs=ntfs label="Windows"  
assign letter=d  
exit
```

**メモ**

この情報をテキスト ファイルに保存してイメージと同じ場所に格納することで、この情報を使用してスクリプトを作成できます。Windows PE の [コマンド プロンプト] ウィンドウからスクリプトを実行するには、次のように入力します。

```
diskpart /s <スクリプト名>.txt
```

<スクリプト名> は Diskpart コマンドを含むテキスト ファイルの名前です。

4. ネットワーク共有からローカル ハード ドライブにイメージをコピーします。たとえば、コマンド プロンプトで次のように入力します。

```
net use y:¥¥network_share¥images  
copy y:¥myimage.wim d:
```

5. 必要であれば、適切なアクセスのためのネットワーク資格情報を指定します。

6. Windows PE メディアにある ImageX ツールを使用してイメージをハード ドライブに適用します。たとえば、コマンド プロンプトで次のように入力します。

```
e:¥imagex.exe /apply d:¥myimage.wim 1 d
```

7. BCDboot を使用してブート構成データ (BCD) ストアを初期化し、ブート環境ファイルをシステム パーティションにコピーします。たとえば、コマンド プロンプトで次のように入力します。

```
d:¥windows¥system32¥bcdboot d:¥windows
```

8. BCDboot の詳細については、Waik.chm の「BCDboot のコマンドライン オプション」または <http://go.microsoft.com/fwlink/?LinkId=121711> を参照してください。

これでセットアップ先コンピューターにカスタム イメージが展開され、コンピューターをユーザーに提供する準備が整いました。ステップ 5 を繰り返して、提供する他のそれぞれのコンピューターにネットワーク共有から展開します。

これで、イメージベースの展開方法を使用したエンド ツー エンドの基本的な展開シナリオが完了しました。最初の応答ファイル、起動可能な Windows PE CD、および最初のカスタム Windows Thin PC イメージを作成しました。また、Windows SIM と ImageX および Windows PE テクノロジーの使い方の基礎知識を得ました。

## 次のステップ

次のステップでは、応答ファイルをさらにカスタマイズして、展開ツールの知識を広げます。Windows Thin PC イメージのカスタマイズと展開の詳細については、Waik.chm の Windows 自動インストール キットのシナリオに関するトピックまたは <http://go.microsoft.com/fwlink/?LinkId=120339> を参照してください。